

## 平成28年度組織目標評価(琵琶湖環境部循環社会推進課)

番号	目標項目	目標値等(目標の内容)	達成状況(成果と課題)	達成度	今後の対応(△・×の項目)	担当所属
1	第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定および推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定(平成28年8月策定予定)</li> <li>○第四次滋賀県廃棄物処理計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブコメ実施(4/13~5/12) →9件の意見等あり</li> <li>・パブコメ結果の報告 県政経営幹事会議(6/10) 環境・農水常任委員会(6/16)</li> <li>・7/1付けで策定</li> </ul> </li> </ul>	◎		循環社会推進課
2	【新】食品ロス削減運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県職員も一消費者として食品ロス削減に取り組むため、職員相互で食べ残しゼロを申し合わせる。(平成28年8月予定)</li> <li>○食品ロス削減運動の機運を醸成するため、県民向けの普及啓発や情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品ロス削減に向けた県職員の率先行動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県政経営幹事会議で説明(7/8)</li> <li>・各所属に依頼文を发出(7/11)</li> <li>・全庁向けお知らせ掲載(7/11等)</li> <li>・県庁こども参観日ミニミニスクール(8/2)</li> </ul> </li> <li>○県民向けの普及啓発・情報提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量・資源化情報サイトリニューアル(11/16)で、食品ロス削減レシピを公募し、優秀レシピを同サイトで紹介</li> <li>・びわ湖環境ビジネスメッセ(10月)や三方よしエコフェア(12月)に出展し、来場者に対して啓発</li> <li>・BBCの県広報番組「滋賀プラスワン」(3/4放送、3/5再放送)で食品ロス削減レシピの調理実演や、職員による食品ロスの現状・削減取組の必要性の説明などを取り上げていただき、県民向けの啓発を実施</li> </ul> </li> </ul>	◎		循環社会推進課

3	PCB廃棄物の期限内の適正な処理完了の推進	<p>○PCB特措法に基づく届出済みの保管事業者に対する高濃度のPCB廃棄物等にかかる処理予定時期の確認 ・すべての事業者(H26末届出数262事業者)</p> <p>○掘り起こし調査によるPCB廃棄物の保有保管の有無等にかかる状況把握(アンケート調査対象7,070箇所) ・調査対象箇所の60%以上</p>	<p>○高濃度PCB廃棄物等の処理予定時期の確認 H26末届出数262事業者中、262事業者に確認 (進捗率:100%) ・処理予定時期を明確にしていない事業者が多く、今後も確認を継続する必要がある。</p> <p>○掘り起こし調査によるアンケート調査の実施 調査対象数7,070箇所に対し、先行2,000箇所、後行5,070箇所へ送付。督促2回実施。 実施数7,070箇所 (回答数5,160箇所/73%) ・未達についての調査や未回答事業者への督促等について継続して行う必要がある。</p>	◎		循環社会推進課廃棄物対策室廃棄物指導係
3	産業廃棄物の不法投棄等の撲滅	○産業廃棄物の不適正処理事案のうち新規発生件数の年度内解決率(H28年度末)85%以上	<p>○成果 2月末現在産業廃棄物不適正処理事案 新規件数:103件、解決件数:85件、一解決率:82.5%</p> <p>○課題 年度末に向け、解決見込みのものを含めると、県全体として目標達成の見込みであるが、環境事務所ごとの解決率については、6環境事務所中、85%以上は3環境事務所の見込みである。</p>	○		循環社会推進課
4	旧RD最終処分場問題の着実な解決	○周辺自治会と情報共有、意見交換をしながら、二次対策工事の計画に従って、A工区の底面遮水工を完了するとともに、B・C工区についても着実に工事を実施する。	<p>○旧RD最終処分場問題連絡協議会を4回開催。モニタリング結果や工事進捗、施工方法について周辺自治会の理解を得た。</p> <p>○現場見学会を3回開催。 (累計住民45名参加)</p> <p>○A工区の底面遮水工は完了。B・C工区等の工事を当年度計画どおりに実施。</p> <p>○学術団体等の視察、研修を積極的に受け入れ、環境修復に向けた本県の取り組みをアピールした。</p>	◎	<p>○適切な時期、頻度で連絡協議会を開催する。</p> <p>○工事の進捗に合わせて、適宜現場見学会を開催する。</p> <p>○引き続きB・C工区や他の工区の工事を着実に実施する。</p>	最終処分場特別対策室

		○浸透水の周辺地下水への影響を把握し、住民の理解を得るために、モニタリング調査を継続的に実施する。	○モニタリング調査を4回実施。結果は、連絡協議会やホームページで周知し、地域住民の理解を得た。	◎	○引き続き、モニタリング調査を年4回実施し、結果を詳細に分析するとともに、連絡協議会において住民に丁寧に説明し、理解を得る。	最終処分場 特別対策室
5	産業廃棄物の適正な処理の推進	○年度内に、県によるすべての廃棄物処理施設等への立入検査等の実施 ①廃棄物処理施設等 全395施設(H27末)  ②排ガス、放流水等の調査	○県による廃棄物処理施設等への立入検査等の実施 ①立入検査 [実施率 100%] 全施設 410施設 立入済施設 410施設 (H28.3時点 410施設) ②排ガス、放流水等の調査	◎		循環社会推進課
6	環境美化活動への参加の拡大	当課が主催する環境美化活動において、参加(申込)した団体数を平成27年度比で10%増加させる(76団体)。 【参考：平成27年度 69団体】	参加(申込)団体数：97団体 ・「びわ湖の日」環境美化活動大津地区：53団体(昨年度41団体) ・「環境美化の日」環境美化活動大津地区：44団体(昨年度28団体)	◎		循環社会推進課

※「達成度」の欄は、年度末の目標の達成について、

◎ 目標を超えて達成(100%超)、○ 目標どおり達成(100%)、

△ 目標の半ば以上の実績(50%以上)、× 目標の半ば以下の実績(50%未満)